

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 メガチップス 上場取引所 東
 コード番号 6875 URL http://www.megachips.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 藤井 理之 TEL (06)6399-2884
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 46,721 | 14.2 | 3,885 | 3.3 | 3,940 | 2.4 | 4,902 | 32.1 |
| 25年3月期第3四半期 | 40,919 | 39.9 | 3,761 | 21.0 | 3,846 | 14.1 | 3,711 | 67.8 |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,204百万円(46.5%) 25年3月期第3四半期 3,552百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 209.96 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 155.76 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 51,614 | 32,006 | 62.0 | 1,370.78 |
| 25年3月期 | 44,075 | 27,595 | 62.6 | 1,181.89 |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 32,006百万円 25年3月期 27,595百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | — | — | 34.00 | 34.00 |
| 26年3月期 | — | — | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、配当方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。配当金額については、配当性向30%程度、または連結純資産配当率2%程度のいずれか高い方を基本として、連結業績、財政状況、投資計画等を考慮し決定しております。(但し、会計・決算上の特殊要因は除きます。)具体的な配当予想額は未定のため、年間配当金の予想を「—」と表記しております。配当方針については、平成25年5月8日公表の平成25年3月期決算短信 添付資料P.4をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 58,500 | 9.1 | 3,500 | △11.7 | 3,600 | △12.6 | 4,600 | 13.7 | 197.01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 信芯股份有限公司

除外 1社 (社名) 川崎マイクロエレクトロニクス(株)

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|-------------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 24,038,400株 | 25年3月期 | 24,038,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期3Q | 689,450株 | 25年3月期 | 689,486株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 26年3月期3Q | 23,348,979株 | 25年3月期3Q | 23,829,428株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

【添付資料】

添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | P. 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | P. 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、異次元の金融緩和による輸出環境の改善や経済対策の効果などにより、生産は緩やかに増加し、設備投資は一部で持ち直すなど、大企業を中心とした企業収益の改善がみられるとともに、個人消費の持ち直しも進むなど、景気は緩やかに回復する状況となってまいりました。ただし、海外景気の減速懸念、消費税率上げによる駆け込み需要の反動などが、景気の下押しリスクとなっております。

当社グループが属する電子機器業界におきましては、一部の電子部品・デバイスが前年同期比増となっているものの、民生用電子機器及び産業用電子機器の需要が減少し、電子機器業界全体の市場は前年同期比減という状況で推移しております。

このような状況の中、平成25年4月1日付で、当社は川崎マイクロエレクトロニクス株式会社（以下、川崎マイクロ）と合併し、新生メガチップスとして事業活動を開始いたしました。

当社グループは、従来より得意とする画像や音声・音楽の圧縮伸張処理技術や通信等の独自技術をベースとした、多様なLSI製品と独創性のあるソリューションの提供に加え、上流の論理設計から下流の物理設計、製造オペレーション、品質保証に至るまで、製品企画から供給までの一貫したサポート体制を新たな強みとして、アプリケーションやシステム企画、ソリューション提供を主軸に、次のとおり事業を推進しております。

主に、アミューズメント、デジタル家電、事務機器、省エネルギー、ホームネットワーク機器などの各分野においては、国内外の有力顧客向けに、応用特化型メモリ、システムLSI、自社システムLSIを搭載した電子部品など、LSI製品の開発と販売を進めております。

セキュリティ・モニタリング分野においては、デジタル映像の伝送・記録を中心とした、自社システムLSI搭載のシステム機器などの開発と販売を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新製品のデジタルカメラ用LSIが寄与したこと、液晶パネル向けLSI及び事務機器向けLSIが堅調に推移したことにより、前年同四半期に対し増収増益となりました。以上の結果、売上高は467億2千1百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益は38億8千5百万円（同3.3%増）、経常利益は39億4千万円（同2.4%増）となり、投資有価証券売却益が5億8千8百万円発生したこと、川崎マイクロとの合併に伴い、繰延税金資産の計上による税額調整（利益）が24億5千万円発生したこと等により、四半期純利益は49億2百万円（同32.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は516億1千4百万円（前連結会計年度比75億3千9百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、受取手形及び売掛金が68億8千5百万円、繰延税金資産（流動資産）が8億2千9百万円、繰延税金資産（固定資産）が16億3千万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が14億7千6百万円減少しております。

負債合計は196億7百万円（同31億2千8百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、支払手形及び買掛金が8億1千8百万円、運転資金目的の短期借入金が50億円増加した一方で、長期借入金が21億2千4百万円減少しております。

純資産は320億6百万円（同44億1千万円の増加）となりました。この結果、自己資本比率は62.0%（同0.6ポイントの下降）となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、89億2千万円となり、前連結会計年度に比べ15億1千1百万円の減少（前年同四半期は2億6千1百万円の増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億1千8百万円の資金の使用（前年同四半期は2億5千万円の資金の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が41億7千5百万円（前年同四半期比19.7%減）となり、仕入債務が7億4千6百万円増加した一方で、売上債権が68億3千4百万円増加したこと、その他の流動負債が10億8千7百万円減少したこと、法人税等の支払額が12億3千7百万円あったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億2百万円の資金の使用（前年同四半期は93億3千万円の資金の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が10億4千3百万円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が2億5千9百万円、長期前払費用の取得による支出が4億9千6百万円、IPの取得による支出等、その他の投資活動による支出が5億3百万円あったことによるものであります。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、41億2千1百万円の資金の使用（前年同四半期は95億8千1百万円の資金の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、20億8千5百万円の資金の獲得（前年同四半期は96億4千8百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、運転資金目的の短期借入金が50億円増加した一方で、長期借入金の返済による支出が21億2千4百万円、配当金の支払額が7億8千9百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月1日に公表の平成26年3月期通期連結業績予想値の修正につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結の範囲の重要な変更）

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました川崎マイクロエレクトロニクス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、第2四半期連結会計期間において、これまで台湾支店（中華民国台北市）で行ってございました業務を承継するため、信芯股份有限公司を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,431,546 | 8,955,379 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,877,890 | 23,763,469 |
| 商品及び製品 | 1,298,176 | 1,731,959 |
| 仕掛品 | 1,510,267 | 1,291,678 |
| 原材料及び貯蔵品 | 892,883 | 716,941 |
| 繰延税金資産 | 1,343,077 | 2,172,841 |
| その他 | 734,991 | 771,685 |
| 貸倒引当金 | △924 | △1,673 |
| 流動資産合計 | 33,087,908 | 39,402,281 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 3,853,526 | 3,853,654 |
| 減価償却累計額 | △2,794,865 | △2,802,788 |
| 建物（純額） | 1,058,661 | 1,050,866 |
| その他 | 6,862,290 | 6,845,486 |
| 減価償却累計額 | △6,027,057 | △6,048,839 |
| その他（純額） | 835,232 | 796,647 |
| 有形固定資産合計 | 1,893,893 | 1,847,513 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 689,330 | 620,151 |
| 無形固定資産合計 | 689,330 | 620,151 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,440,619 | 1,770,384 |
| 長期前払費用 | 1,754,537 | 1,946,927 |
| 繰延税金資産 | 2,961,178 | 4,591,192 |
| その他 | 1,247,542 | 1,435,655 |
| 投資その他の資産合計 | 8,403,876 | 9,744,159 |
| 固定資産合計 | 10,987,100 | 12,211,824 |
| 資産合計 | 44,075,009 | 51,614,106 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,443,211 | 4,261,272 |
| 短期借入金 | — | 5,000,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,833,332 | 2,833,332 |
| 未払法人税等 | 529,310 | 967,573 |
| 賞与引当金 | 633,554 | 352,481 |
| 工事損失引当金 | 759,978 | 632,723 |
| その他の引当金 | — | 110,001 |
| その他 | 2,897,931 | 2,310,603 |
| 流動負債合計 | 11,097,317 | 16,467,986 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,250,002 | 2,125,003 |
| その他 | 1,131,944 | 1,014,733 |
| 固定負債合計 | 5,381,946 | 3,139,736 |
| 負債合計 | 16,479,263 | 19,607,722 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,840,313 | 4,840,313 |
| 資本剰余金 | 6,181,300 | 6,181,300 |
| 利益剰余金 | 17,364,960 | 21,473,370 |
| 自己株式 | △1,056,030 | △1,055,975 |
| 株主資本合計 | 27,330,543 | 31,439,008 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 267,293 | 7,931 |
| 為替換算調整勘定 | △2,091 | 559,442 |
| その他の包括利益累計額合計 | 265,201 | 567,374 |
| 純資産合計 | 27,595,745 | 32,006,383 |
| 負債純資産合計 | 44,075,009 | 51,614,106 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 40,919,120 | 46,721,532 |
| 売上原価 | 30,799,203 | 34,866,858 |
| 売上総利益 | 10,119,917 | 11,854,674 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,358,440 | 7,969,391 |
| 営業利益 | 3,761,476 | 3,885,282 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,296 | 6,400 |
| 受取配当金 | 61,001 | 7,930 |
| 投資事業組合運用益 | — | 4,875 |
| 未払配当金除斥益 | 7,807 | 6,306 |
| 為替差益 | 29,682 | 76,417 |
| 雑収入 | 24,655 | 8,523 |
| 営業外収益合計 | 128,443 | 110,453 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 38,187 | 42,623 |
| 投資事業組合運用損 | 2,371 | — |
| 雑損失 | 2,968 | 12,722 |
| 営業外費用合計 | 43,528 | 55,346 |
| 経常利益 | 3,846,391 | 3,940,389 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 13 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 588,519 |
| 負ののれん発生益 | 1,406,607 | — |
| 特別利益合計 | 1,406,620 | 588,519 |
| 特別損失 | | |
| たな卸資産評価損 | — | 197,113 |
| 固定資産売却損 | 92 | — |
| 固定資産除却損 | 4,413 | 35,961 |
| 投資有価証券評価損 | — | 120,070 |
| 本社移転費用 | 46,382 | — |
| 特別損失合計 | 50,888 | 353,145 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,202,123 | 4,175,763 |
| 法人税等 | 1,490,352 | △726,517 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,711,770 | 4,902,281 |
| 四半期純利益 | 3,711,770 | 4,902,281 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,711,770 | 4,902,281 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △325,123 | △259,361 |
| 為替換算調整勘定 | 166,011 | 561,533 |
| その他の包括利益合計 | △159,111 | 302,172 |
| 四半期包括利益 | 3,552,658 | 5,204,453 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,552,658 | 5,204,453 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,202,123 | 4,175,763 |
| 減価償却費 | 383,538 | 466,721 |
| 長期前払費用償却額 | 389,550 | 729,115 |
| 負ののれん発生益 | △1,406,607 | — |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △64,507 | △281,073 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 31,710 | △127,255 |
| 受取利息及び受取配当金 | △66,297 | △14,330 |
| 支払利息 | 38,187 | 42,623 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △588,519 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 120,070 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △4,856,221 | △6,834,485 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △331,130 | 98,841 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,935,592 | 746,440 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 543,968 | 199,319 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △577,139 | △1,087,393 |
| その他 | 24,780 | 1,896 |
| 小計 | 1,247,549 | △2,352,264 |
| 利息及び配当金の受取額 | 65,609 | 14,645 |
| 利息の支払額 | △31,607 | △43,883 |
| 法人税等の還付額 | 198 | 318 |
| 法人税等の支払額 | △1,532,449 | △1,237,067 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △250,699 | △3,618,252 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △35,162 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △477,892 | △259,142 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △101,408 | △122,754 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1,043,034 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △30,726 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △6,752,303 | — |
| 長期前払費用の取得による支出 | △997,033 | △496,214 |
| 貸付けによる支出 | △573,120 | △98,590 |
| その他 | △429,032 | △503,432 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,330,789 | △502,987 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 3,000,000 | 5,000,000 |
| 長期借入れによる収入 | 8,500,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △708,333 | △2,124,999 |
| 自己株式の処分による収入 | — | 95 |
| 自己株式の取得による支出 | △500,117 | △48 |
| 配当金の支払額 | △642,586 | △789,360 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 9,648,962 | 2,085,686 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 193,553 | 524,223 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 261,027 | △1,511,329 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,228,018 | 10,431,546 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,489,046 | 8,920,217 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社は、平成24年9月3日付の会社法第370条(取締役会の決議に替わる書面決議)による自己株式(当社普通株式)取得の決議により、平成24年9月7日から平成24年9月13日までの間に自己株式305,400株を取得いたしました。これにより、自己株式が499,994千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。